

12年度通期決算 説明資料

2013年5月9日

沖電気工業株式会社

※億円単位の数値の表示方法について:

各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。
また増減については、億円単位の数値を元に計算しています。

※本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

本日のご説明内容

1. 12年度 通期決算について

- 1-1) グループ概況
- 1-2) セグメント情報
- 1-3) 営業利益の変動要因
- 1-4) P/Lの概要
- 1-5) B/Sの概要
- 1-6) キャッシュフローの概要

2. 13年度 計画について

- 2-1) 13年度の方針
- 2-2) セグメント情報
- 2-3) 営業利益の変動要因
- 2-4) P/Lの計画
- 2-5) フリーキャッシュフローの計画
- 2-6) 設備投資・研究開発投資の計画

グループ概況

- 売上高は、すべてのセグメントで増収。
営業利益は、プリンタセグメントの悪化を跳ね返して増益

【対前年同期比較】

- 売上高は、323億円の増収（為替影響+28億円）
- 営業利益は、15億円の増益（為替影響▲8億円）

(単位:億円)	12年度		前年同期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
情報通信	2,930	238	2,672	187
プリンタ	1,114	△88	1,074	△43
E M S	327	16	313	15
その他	187	30	176	25
消去・本社費	—	△61	—	△64
合計	4,558	135	4,235	120

前回(2/13)公表	
売上高	営業利益
2,895	215
1,110	△95
330	15
185	30
—	△65
4,520	100

セグメント情報 【情報通信】

■ 為替による影響

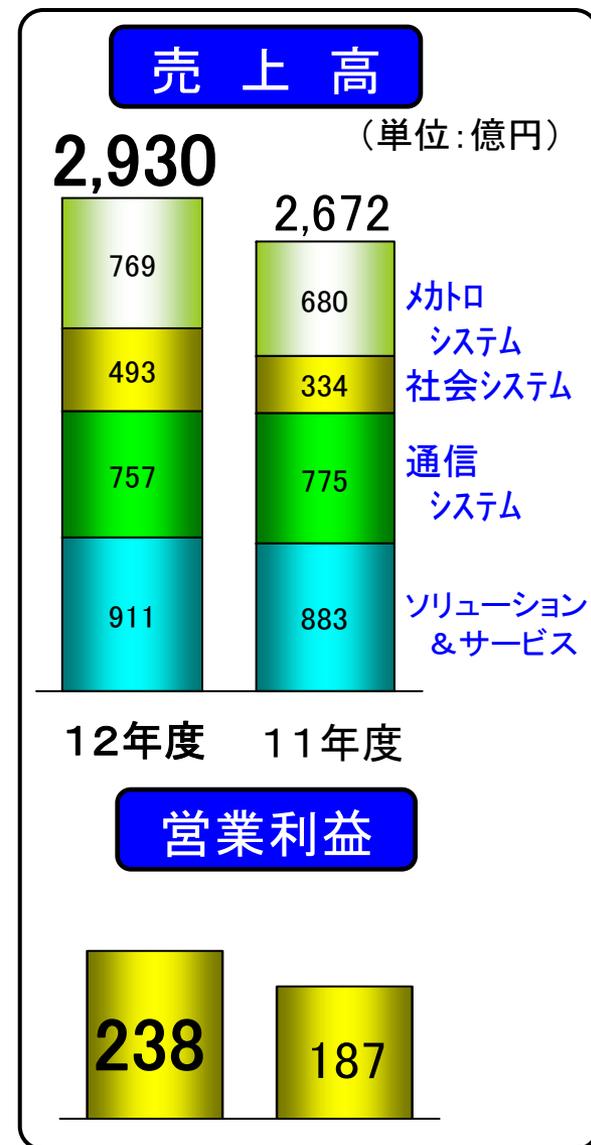
➤ 売上高20億円増収、営業利益4億円増益

■ 売上高: 為替を除き238億円増収

- ソリューション&サービス:
官公庁および法人市場向け案件などが堅調
- 通信システム:
コアNWなどが増加。企業NWや保守・工事も堅調
光アクセス需要の減速などにより、全体では減収
- 社会システム:
消防デジタル整備が本格化、復興需要により防災案件が増加
- メカトロシステム:
中国向けATMは、展開エリアが広がったことなどから
引き続き好調。現金処理機も堅調

■ 営業利益: 為替を除き47億円増益

物量増に伴う限界利益の増加や変動原価の低減などにより増益



セグメント情報【プリンタ】

■ 為替による影響

➤ 売上高8億円増収、営業利益12億円減益

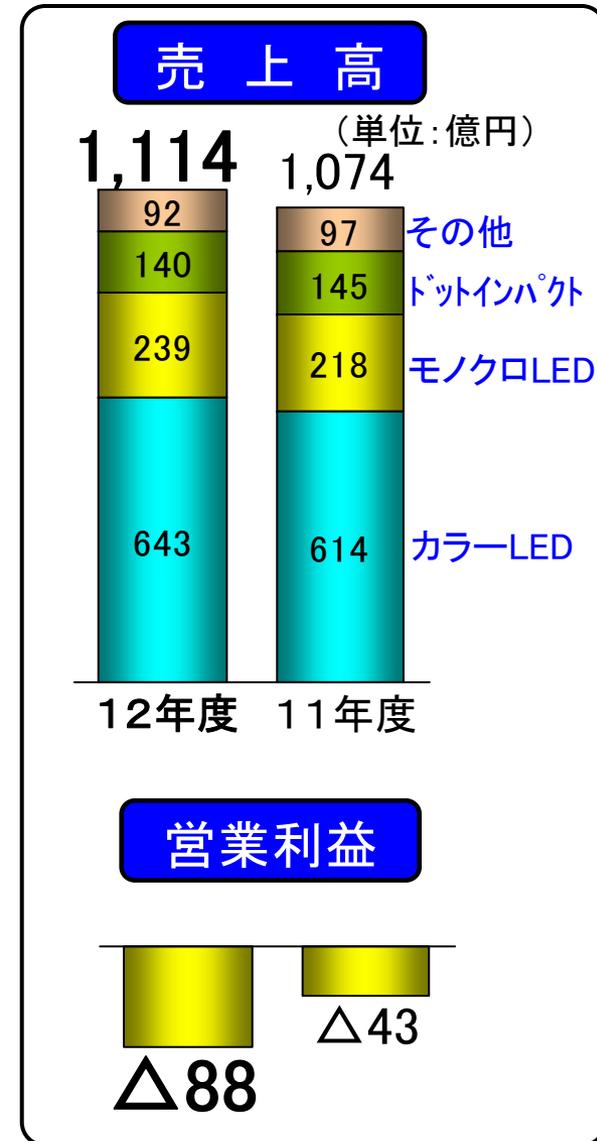
■ 売上高：為替除き32億円増収

➤ カラーLEDおよびモノLED：
市場環境は厳しさを増すものの、積極的な販売投資や商品ラインアップ拡充などにより、販売台数は増加

➤ ドットインパクト：
販売台数は増加するものの、価格下落により減収

■ 営業利益：為替除き33億円悪化

販売台数は増加するものの、価格下落に加え、販売投資増および輸送費増などの固定費等の増加により悪化



セグメント情報【EMS】・【その他】

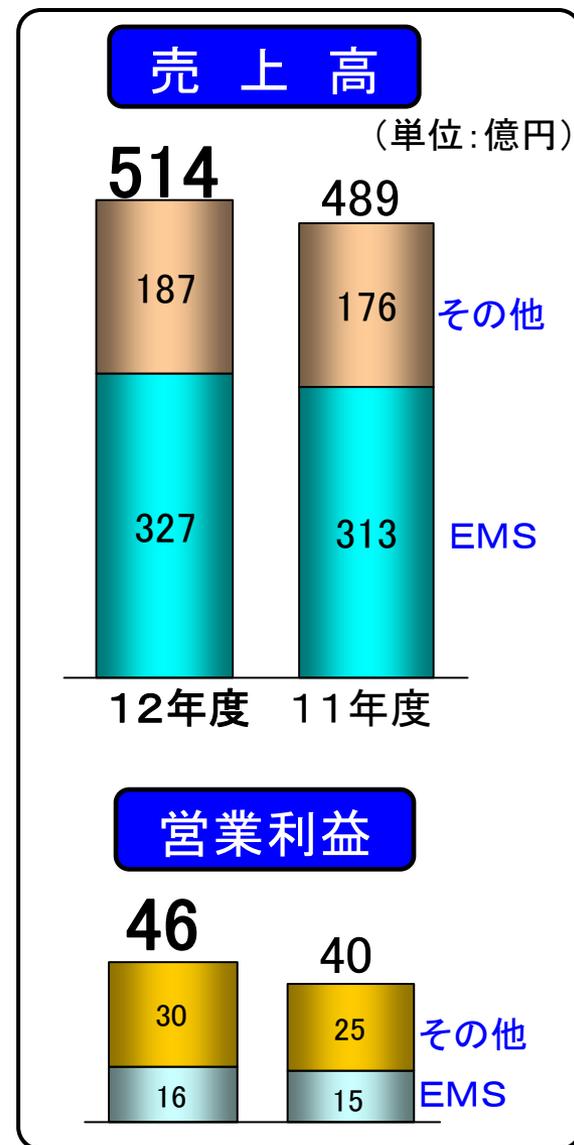
■ 売上高

➤ EMS、その他：

ハイエンド型EMSは堅調。半導体装置関連の需要は減少するものの、OKI田中サーキット(株)などの新規連結により増収

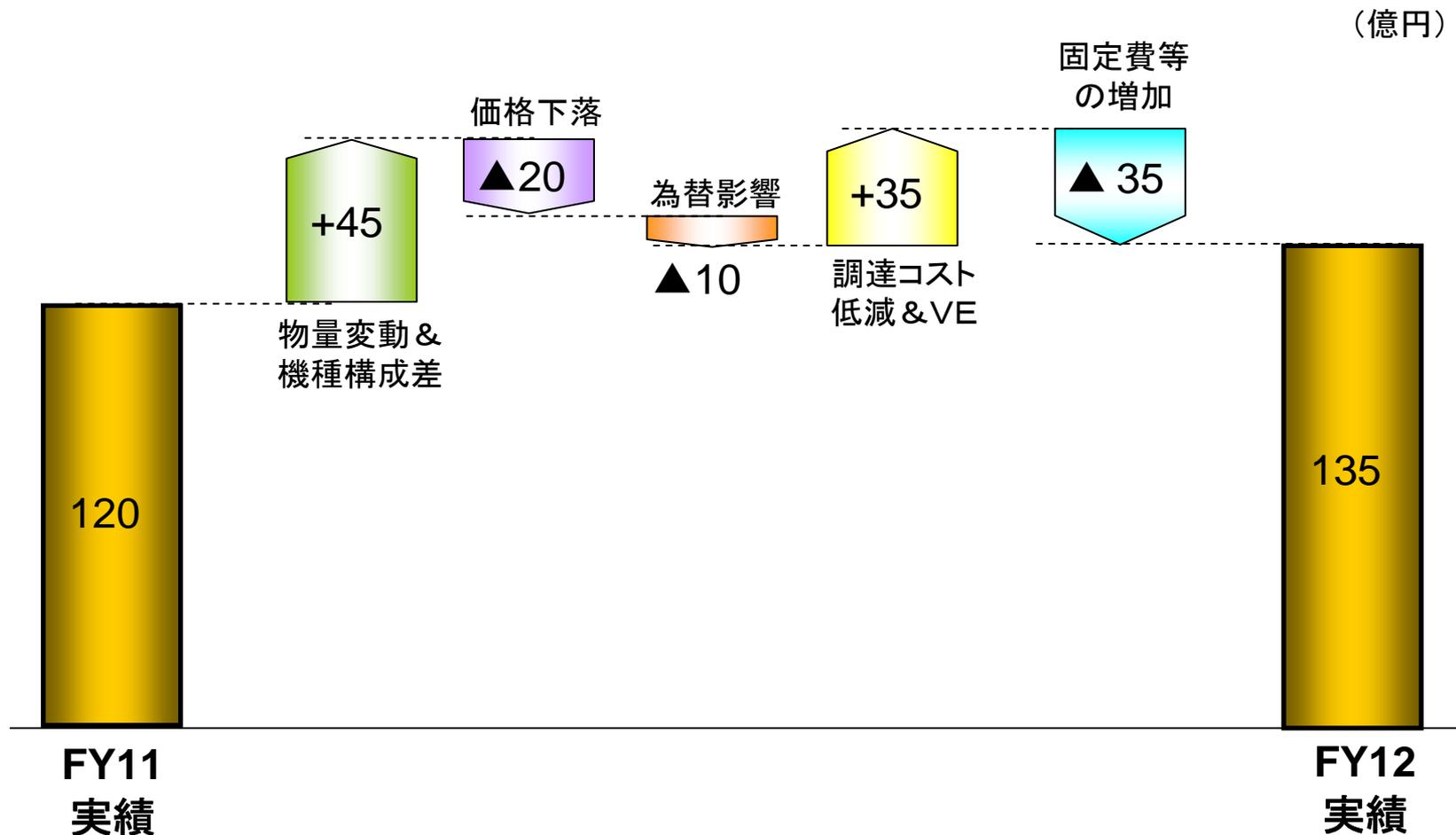
■ 営業利益

物量増に伴う限界利益の増加などにより増益



営業利益の変動要因

■物量増や変動原価の低減などにより、価格下落、為替影響、固定費等の増加を吸収し、前年対比15億円増益



P/Lの概要

(単位:億円)	12年度	11年度
売上高	4,558	4,235
売上原価	3,374	3,169
販管費	1,049	946
営業利益	135	120
営業外収支	68	△29
経常利益	203	91
特別損益	△17	△35
税引前利益	186	56
当期純利益	136	16

【対前年比較】

- 販管費は、スペイン貸倒引当影響や情報通信セグメントを中心としたR&D投資増などにより増加
- 営業外収支は、為替差益(△1→88)や支払い利息の減少などにより良化
- 特別損益は良化。
 - ・子会社(OSIB)整理損(0→△40)
 - ・タイ洪水災害損失(△13→0)
 - ・固定資産売却益(0→28)
 - ・投資有価証券関連(△5→5)

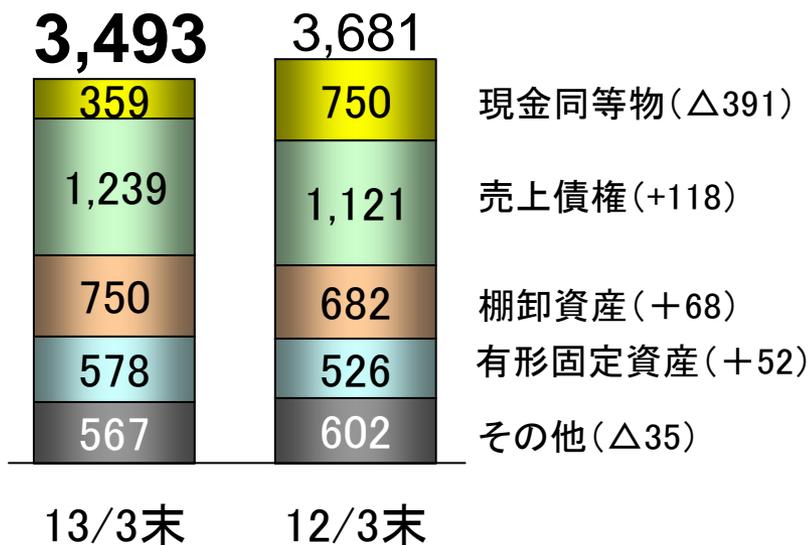
参考	期末日レート		平均為替レート	
	13/3末	12/3末	12年度	11年度
USD	94.0	82.1	83.1	79.1
EUR	120.7	109.7	107.2	109.0

B/Sの概要

- 総資産は188億円減少
- 当期純利益の積み上げにより自己資本比率は11.2%→16.1%に改善
- NET D/Eレシオは1.5倍

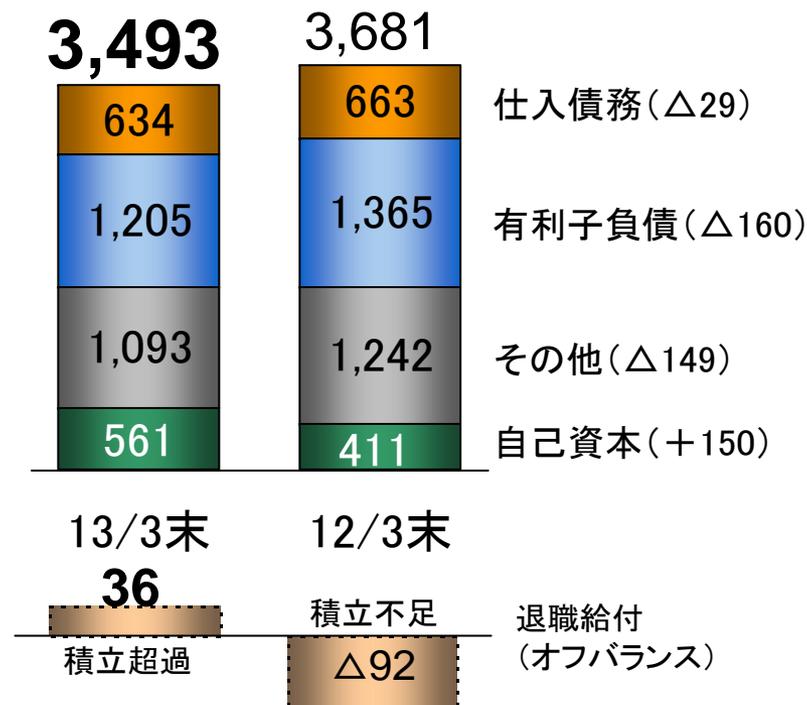
(単位:億円)

【資産の部】



()内は増減

【負債・純資産の部】



キャッシュフローの概要

- 営業キャッシュフローは、運転資金の増加およびスペインのファクタリング解消などにより116億円の支出

(単位: 億円)	12年度	11年度
I 営業キャッシュフロー	△116	228
税金等調整前当期純利益	186	56
減価償却費	130	127
運転資金の増減	△158	154
その他	△274	△109
II 投資キャッシュフロー	△92	△94
設備投資支払額	△119	△88
その他投資活動	27	△6
フリー・キャッシュフロー(I + II)	△208	134
III 財務キャッシュフロー	△211	△175
キャッシュフロー計(I + II + III)	△419	△41

フリー・キャッシュフローおよびキャッシュフロー計については、各項目の億円単位での合計値で表示しています

本日のご説明内容

1. 12年度 通期決算について

- 1-1) グループ概況
- 1-2) セグメント情報
- 1-3) 営業利益の変動要因
- 1-4) P/Lの概要
- 1-5) B/Sの概要
- 1-6) キャッシュフローの概要

2. 13年度 計画について

- 2-1) 13年度の方針
- 2-2) セグメント情報
- 2-3) 営業利益の変動要因
- 2-4) P/Lの計画
- 2-5) フリーキャッシュフローの計画
- 2-6) 設備投資・研究開発投資の計画

13年度の方針

＜中期経営計画の最終年度＞

営業利益目標220億円を達成し、復配を目指す

- ベース事業による安定収益の確保
- 海外展開の加速
- プリンタ事業構造改革の実行

＜13年度経営目標＞

売上高：4,600億円、営業利益：220億円
当期純利益：115億円

セグメント情報(サマリ)

【通期計画の対前年比較】

- 売上高は、42億円増収の4,600億円
- 営業利益は、85億円増益の220億円

<為替レート>

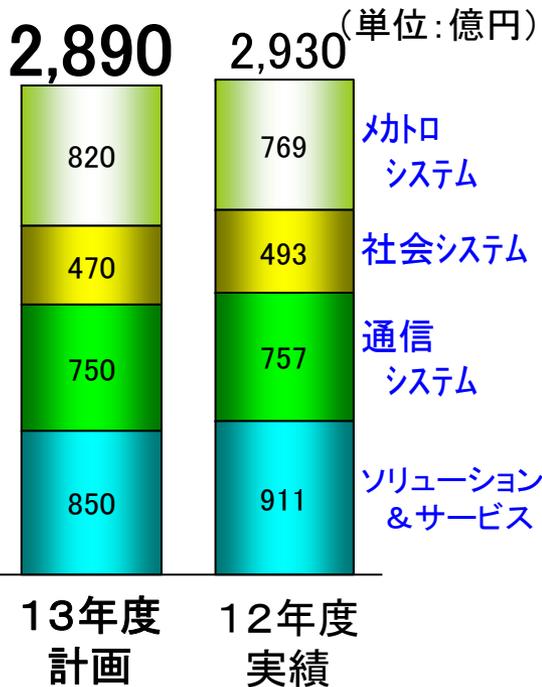
	13年度	12年度
USD	85.0	83.1
Euro	115.0	107.2

(単位:億円)		13年度計画		12年度	
		通期	2Q累計	通期	2Q累計
情報通信	売上高	2,890	1,140	2,930	1,162
	営業利益	205	30	238	46
プリンタ	売上高	1,150	550	1,114	538
	営業利益	40	0	△88	△72
EMS	売上高	390	175	327	148
	営業利益	20	5	16	5
その他	売上高	170	80	187	88
	営業利益	20	10	30	14
消去・本社費	営業利益	△65	△30	△61	△32
合計	売上高	4,600	1,945	4,558	1,936
	営業利益	220	15	135	△40

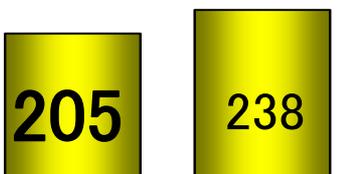
セグメント情報

【情報通信】

売上高

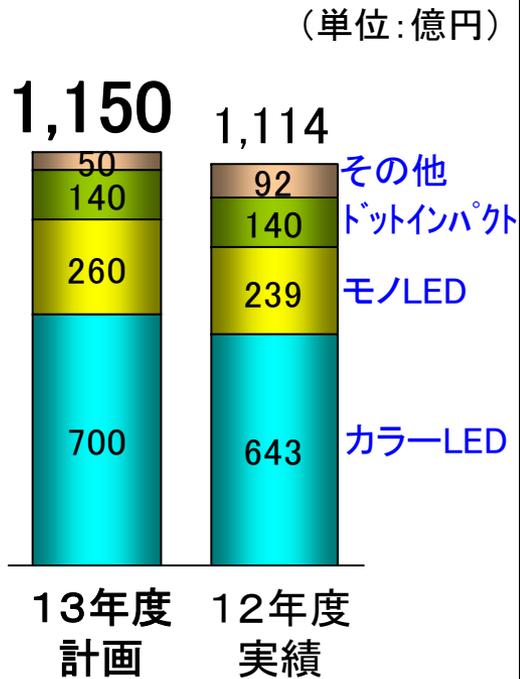


営業利益

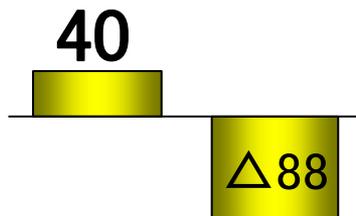


【プリンタ】

売上高

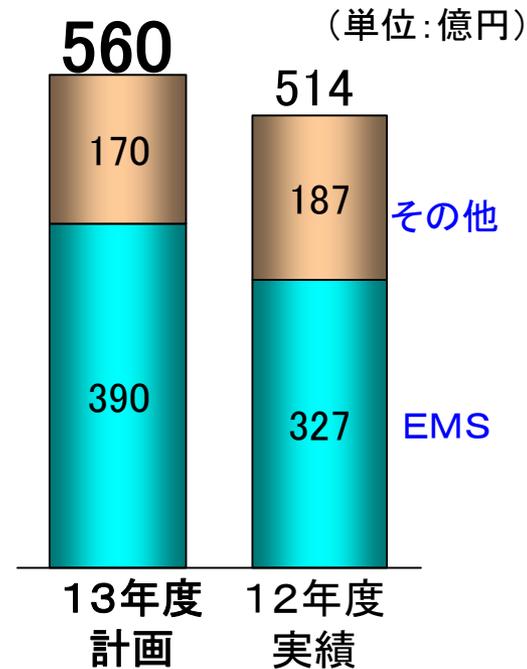


営業利益

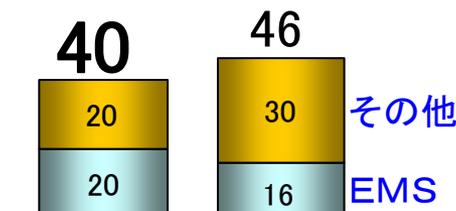


【EMS、その他】

売上高



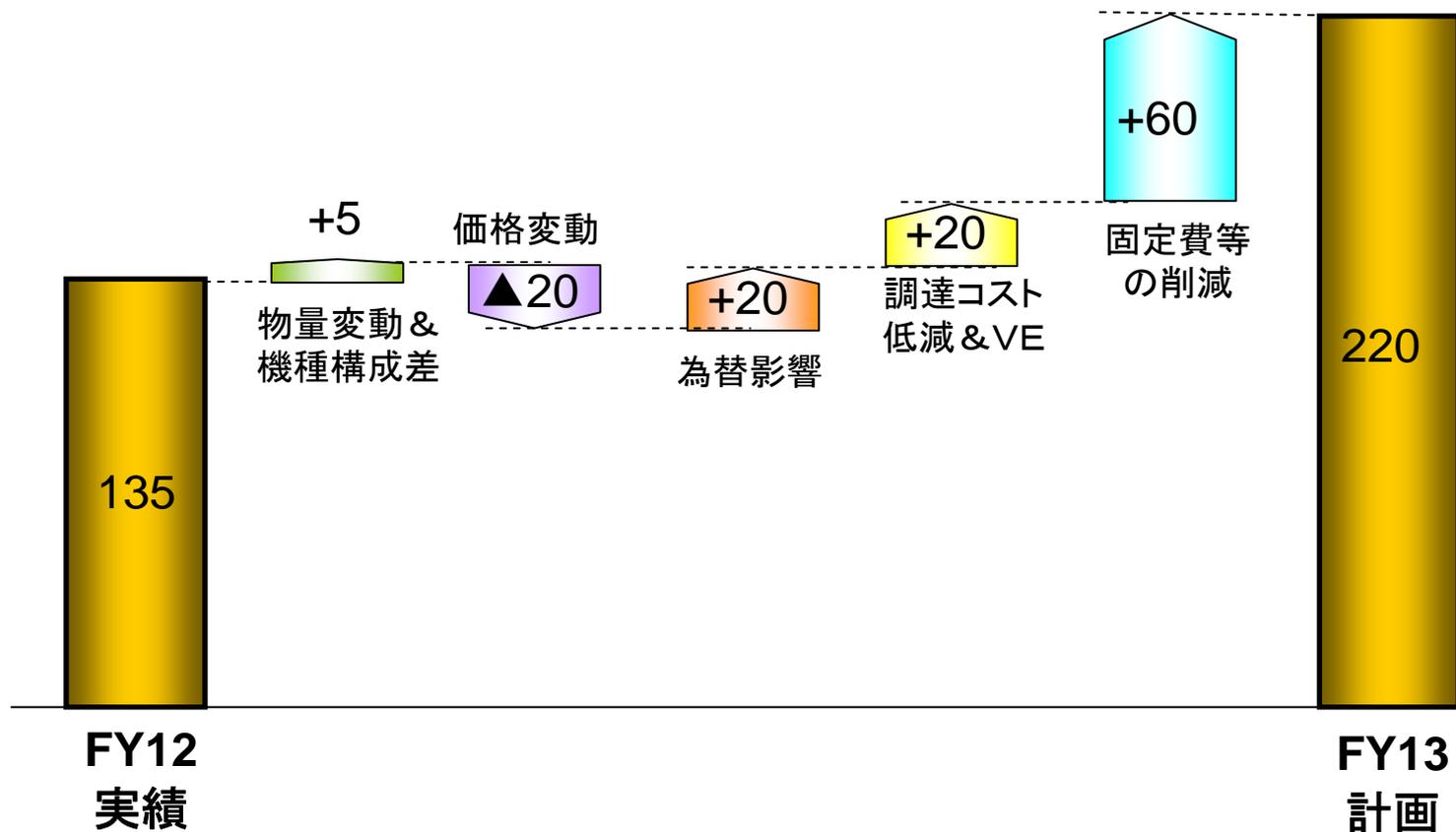
営業利益



営業利益の変動要因

■ 変動原価の低減や為替効果に加え、プリンタ事業構造改革による固定費等の削減などから、前年比85億円増益を計画

(億円)



P/Lの計画

- 経常利益は、営業外の為替影響を見込まず減益
- 当期純利益は、プリンタ経営基盤強化費用を計上することなどから減益

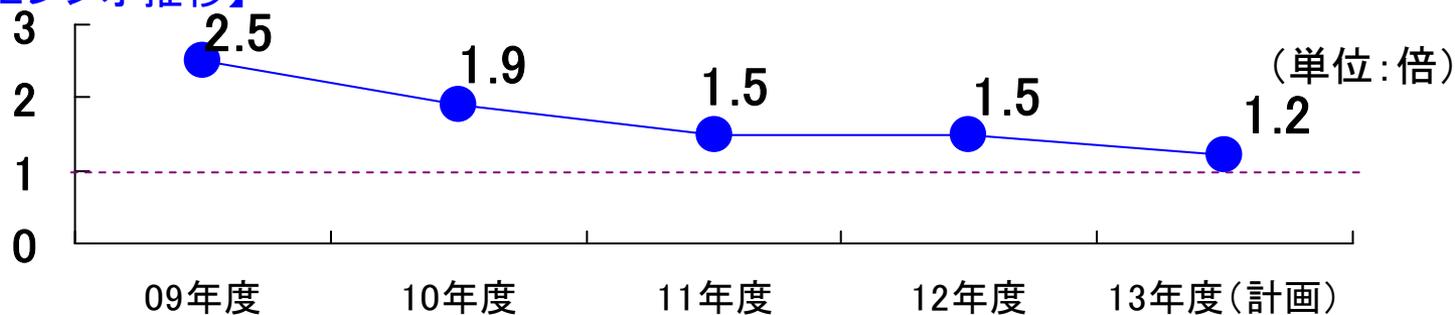
(単位:億円)	13年度計画		12年度実績	
	通期	2Q累計	通期	2Q累計
売上高	4,600	1,945	4,558	1,936
営業利益	220	15	135	△40
経常利益	190	△5	203	△61
当期純利益	115	△25	136	△67

フリー・キャッシュ・フローの計画

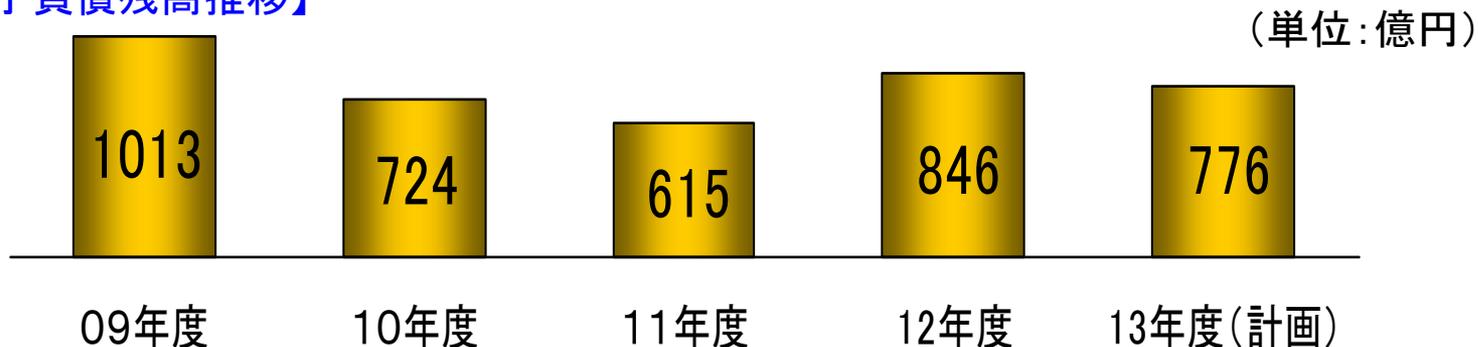
● キャッシュフロー、NET D/Eレシオとも改善

(単位:億円)	13年度 計画	12年度 実績
I 営業キャッシュ・フロー	250	△116
II 投資キャッシュ・フロー	△150	△92
フリー・キャッシュ・フロー(I+II)	100	△208

【NET D/Eレシオ推移】



【NET有利子負債残高推移】



設備投資、研究開発投資の計画

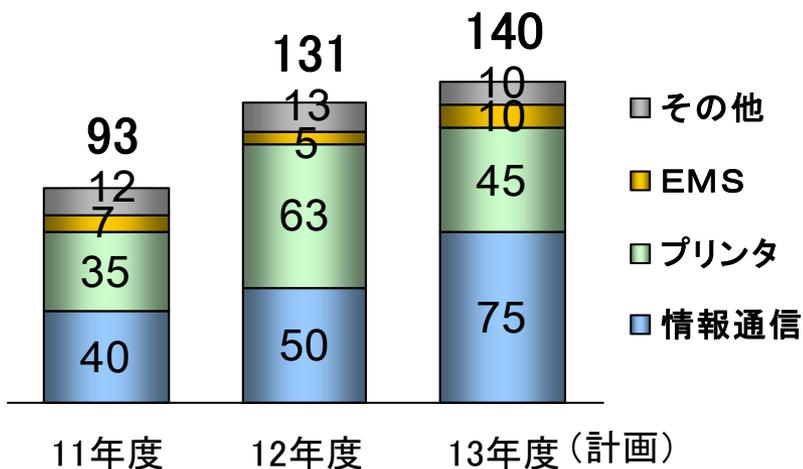
- 注力事業の事業展開に応じた投資を行い、競争力強化を図る

設備投資(有形固定資産)

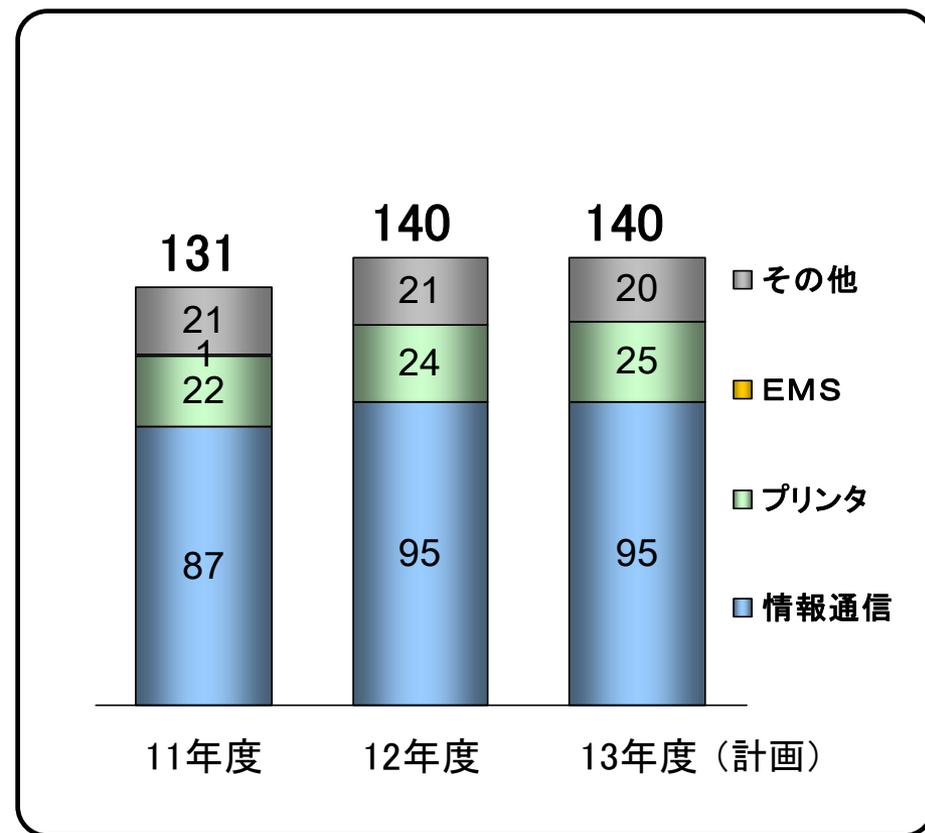
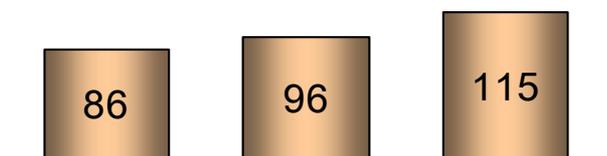
(単位:億円)

研究開発投資

【投資額】



【減価償却費】





Open up your dreams